



2024年1月5日

各位

会社名 ENECHANGE 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 城口 洋平
(コード番号：4169 東証グロース)
問合せ先 執行役員 伊與部 誠
(TEL 03-6635-1021)

「資金・キャリアコミット型メガベンチャーインセンティブ」の 内容に関するお知らせ

当社は、2024年1月5日開催の取締役会において、「資金・キャリアコミット型メガベンチャーインセンティブ」と称するインセンティブパッケージの内容について決議しましたのでお知らせいたします。なおその内容の一部である、当社の代表取締役、子会社取締役、執行役員並びに従業員に対する新株予約権の内容の詳細につきましては、当社が本日公表しました「有償新株予約権（業績目標及び株価条件付ストックオプション）の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

1. 本件導入の背景

日本のグロース市場において上場後に株価が低迷するケースが多く、企業に上場後も継続的に成長するよう求め、成長が滞った企業の新陳代謝を促すための「グロース市場改革」が議論されている中、当社としては、このような株価低迷の要因の一つとして、上場後の株式インセンティブが未発達であり収益基盤の弱いグロース企業では、報酬面で大企業及び未上場スタートアップに劣後することで、人的資本に十分に投資ができないことがあるものと認識しています。かかる背景において、今般当社では米国企業と同等の株式インセンティブパッケージを導入することで、経営幹部の資金・キャリアコミットメントを通じ、中長期の成長にコミットし、時価総額1,000億円以上の「メガベンチャー」を創出してみたいと考えています。

2. スキームの趣旨

本パッケージは株主利益とアラインする業績拡大と企業価値向上を目的としています。そのため参加者は、資金コミットメント（条件達成時までのロックアップ）とキャリアコミットメント（条件達成時までのフルタイム勤務が条件）を条件として付すことで、目標達成に向けて資金面・キャリア面でのフルコミットメントを求める設計としています。

株式は、当社共同創業者CTOの有田一平からの譲渡とすることで、希薄化を防ぎつつ経営上の役割におけるバトンタッチを明確化いたします。なお現代表取締役CEOである城口洋平は、その他参加者合計と同数の350,000株を取得することで、経営責任を明確化いたします。

有償ストックオプション（以下、「有償SO」）は、株主利益とアラインすべく希薄化を上回る高い業績・株価目標を設定し、時価総額1,000億円達成時には約10倍のリターン（未上場時から上場時におけるリターンに比肩）を実現できるように設計しています。

3. スキームの概要

（1）当社株式の買付け

当社の成長に対するコミットメントとして、参加者は当社共同創業者CTOの有田一平より、保有する株式700,000株を相対取引により取得することを予定しており、この買付けは、有田と参加者個々人の取引として実行されます。この買付けに際し、資金の一部を充当するため参加者（現代表取締役CEOである城口洋平は除く）は当社からの借入れを予定し、それに加えて当社は参加者個々人と適切な保全策を講じた金銭消費貸借契約を締結する予定です。また長期のコミットメントを担保する目的で、当社は参加者個々人と保有株式に対する譲渡制限条項を付した合意書を締結する予定です。

なお株式の譲受人である城口洋平及び譲渡人である有田一平の潜在株式を含めた当社株式保有数は2023年12月31日時点でそれぞれ6,948,900株（発行済み株式に占める保有割合は22.46%（資産管理会社を通じた保有分を含む、以下同））、1,922,204株（発行済み株式に占める保有割合は6.21%）ですが、本買付けの完了後には、それぞれ7,298,900株（発行済み株式に占める保有割合は23.59%）、1,222,204株（発行済み株式に占める保有割合は3.95%）となる予定です。加えて、（2）に記載する有償ストックオプションの割当分がすべて行使された場合、城口の当社株式保有数は8,523,900株になる予定です。

（2）有償ストックオプション

当社の成長に対するインセンティブとして、参加者は当社の発行する有償ストックオプション2,450,000株相当の割当を受けることを予定しています。本有償ストックオプションについては、以下を行使条件として設定し、条件達成時以降毎年50%ずつ段階的に行使可能となる設計とすることで、長期的な業績拡大と企業価値の増大を目指すためのインセンティブプランとなることを目的としております。なお参加者は、別途当社との間で、上記制限条項を含む割当契約を締結する予定です。

本ストックオプションがすべて権利行使された場合の希薄化率は7.92%（※1）となります。

<権利行使条件>

2025年12月期から2032年12月期の期間内において、下記Aを達成し、かつBもしくはCを達成すること

A. 売上高130億円かつ経常利益10億円（※2）

B. 時価総額1,000億円（連続する5営業日において達成）（※3）

C. 東証プライム市場へ上場

（※1）2023年12月末時点での発行済株式数30,935,684株を分母として算出

（※2）株式報酬費用は除く

（※3）顕在株式ベース

詳細は当社が本日公表しました「有償新株予約権（業績目標及び株価条件付ストックオプション）の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

「資金・キャリアコミット型メガベンチャーインセンティブ」パッケージについて、共同創業者である城口洋平並びに有田一平は以下のようにコメントしています。

城口洋平コメント：

「今回の「資金・キャリアコミット型メガベンチャーインセンティブ」は、日本からメガベンチャーを出していくために重要な試金石になる施策だと考えています。「グロース上場」企業は、米国上場企業や、未上場ベンチャーに比べて、人的資本に十分に投資できず成長が伸び悩む課題があり、当社も危機感があります。株価が3倍以上の目標を設定し、その実現に向けて、私と次世代経営幹部合計48名が、資金的・キャリア的にフルコミットすることで、全員が背水の陣で株主価値向上に邁進する覚悟です。」

有田一平コメント：

「今期をもって経営の最前線からは離れ、共同創業者としてのサポート及び、CTOとしての技術領域の活動に集中させていただくことになりました。これを機に、これまでに私が株式インセンティブとして受け取った株式の約半数を、次の成長を支える新しい才能へ譲渡します。私自身も株式インセンティブが、ここまで走り続ける強いモチベーションとなりました。そのバトンをつなげることが、次期経営層の起業家精神を奮い立たせ、株主価値の向上につながると確信しております。」

※「資金・キャリアコミット型メガベンチャーインセンティブ」パッケージの全体像については本日公表の「資金・キャリアコミット型メガベンチャーインセンティブ」の内容に関するお知らせ（補足説明資料）」（下記一部抜粋）をご参照下さい。

一 「資金・キャリアコミット型メガベンチャーインセンティブ」の概要

目的	最重要な人的資本である次期経営層候補に対して、自己資金・キャリアコミットメントとインセンティブが一体化されたパッケージによりメガベンチャー（時価総額1,000億円以上）の実現を目指す	
スキーム	概要	譲受株式1株の購入に対して、3.5株相当分の有償SO（行使条件付き）
	数量	譲受株式（有田一平との相対取引）：700,000株（希薄化率0%、ロックアップ有） 有償ストックオプション（以下、有償SO）：2,450,000株相当（希薄化率7.92 ^{*1} %、行使条件付）
	有償SOの行使条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ FY2025-FY2032の期間内においてAを達成し、かつBもしくはCを達成すること A. 売上高130億円かつ経常利益10億円^{*2} B. 時価総額1,000億円（連続する5営業日において達成）^{*3} C. 東証プライム市場上場 ・ 上記達成時に、フルタイムで在籍し、譲受株式を継続保有していること ・ 上記達成時から、年間50%ずつ権利行使可能
	権利行使価額	1,055円/株（発行価額10円/株） ^{*4}
	付帯事項	株式購入資金の一部は会社からの貸付（CEOは除く）
	PL影響	株式報酬費用総額1,790百万円 ^{*5} をFY2025から条件達成の可能性等鑑み段階的に計上
対象者	当社の将来成長を担う次期経営層候補プールより、自主的な参加意欲を示した48名が対象 <ul style="list-style-type: none"> ■ 代表取締役CEO 1名 ■ 執行役員 12名 / 子会社役員 1名 / 従業員 34名（内、エンジニア11名） 	

^{*1}: 2023年12月末時点での発行済株式数30,935,684株を分母として算出 ^{*2}: 株式報酬費用は除く ^{*3}: 額在株式ベース
^{*4}: 発行決議日の前日の終値を基準としてブルータス・コンサルティングにより算出 ^{*5}: 現時点での概算値（割当予定日の2024年1月22日に決定予定）

以上